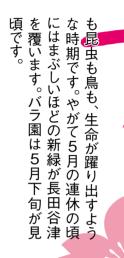
ともなれば、昆虫たちは次の季節に向けを見ることが出来るかもしれません。10月に、鳥たちが木の実をついばむ愛らしい姿す。秋の野草を探しながら散策する途中高くなった空と浮かぶ雲に、秋を感じま

移ってゆき、冬鳥たちも姿を見せます。た紅葉はだんだん斜面林、もみじ山へとと冷え込む11月になると、水辺から始まっカネが産卵するのもこの頃です。朝晩ぐって準備を始めます。オオカマキリやアキア

人気者のカワセミ(9月)

宝石のようなジャノヒゲの実

ブシが春たけなわを知らせます。花めます。3月も末となれば、満開のコが舞い、池ではヒキガエルが産卵を始青い小さな花が草むらを彩り、チョウ水ぬるむ3月。オオイヌノフグリの水ぬるむ3月。オオイヌノフグリの













(3~5月)

りつける太陽の下、セミの声がふりそるのもこの頃です。やがて夏本番。照ノキやハンゲショウが美しい花を咲かせ界では、植物の育つ大切な時期。ネム空模様がぐずつく梅雨も自然の世空模様が

にミソハギの紅紫色が目立ちまくり用の下旬には、ヘイケボタルマの姿を見ることが出来ます。そぐ谷に、風をとらえて飛ぶるぐ谷に、風をとらえて飛ぶ

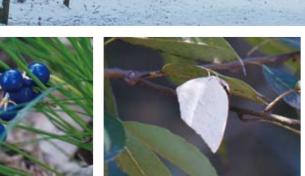
(6~8月)

(9~11月)

で氷が張る日もあります。立春を過凍りませんが、冷え込むと池の半分まます。絶えず水の流れがある湧水はを、メジロが忙しそうに飛び回っていを、メジロがなり、冬が到来した長田谷津霜が降り、冬が到来した長田谷津 し、長田谷津に再び春が訪れます。冬眠していたカエルも 目こホンズイセンが枯れ野に色をる日も増え、フキノトウが芽をる日も増え、カーチノトウが芽をでる頃になると、光の春を予ぎる頃になると、光の春を予



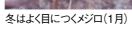
色鮮やかなムラサキシキブの実(11月)





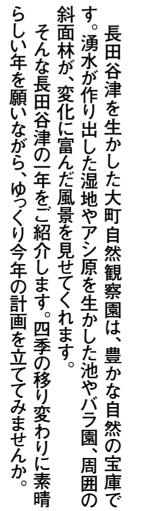








幼虫の食草はジュズダマ クロコノマチョウ(11月)



小さな花が集まって咲くミソハギ(7月)



夏の象徴オニヤンマ

